

# クラブインフォメーション



発行:(公財)鳥取県スポーツ協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内



TEL:0857-26-7802 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 令和2年9月 第133号

## クラブ紹介コーナー

### あいだクラブ\*硬式野球&軟式野球教室



キャッチ練習



人間知恵の輪



守備練習



シャトル打ち

令和2年8月1日(土)、会見ドーム(南部町)で硬式野球教室と軟式野球教室が開催されました。

あいだクラブは個々のスキルアップを目指す指導で、1人1人の選手のレベルを見て、全体練習、複数練習、個人練習と分け、内容も個々のレベルに合わせて指導しています。

米田政紀総監督の下、下原健吾硬式監督と持田隼輔軟式監督(あいだクラブOB)の若いスタッフが、その経験を全て伝えていきます。

基本的な練習は、全身の筋力や持久力のアップと、常に場面を想定したプレーに取り組みます。

今日は、ランニング、穴あきボールを使ったキャッチ練習、頭と身体が柔らかくなる人間知恵の輪、守備練習、シャトル打ち等を行いました。

今日は、今年度高校の硬式野球部に入部したOBが、自分の練習方法を再確認するために参加し、総監督からアドバイスをもらい不安や疑問の解決できました。

高校の部活動の様子を聞くと、「あいだクラブでの練習のおかげで、精神的にも体力的にも問題なくやれています。中学3年生の夏から卒業するまでの間、あいだクラブで練習した経験は大きいです。」と話してくれました。

子どもの練習を見守る保護者からは、「しっかりと1人1人を見ていただき、的確な指導と、新しい指導方法をいち早く取り入れたり、それぞれの身体の状態をみて練習内容を変えていただけるのでとても信頼しています。」と嬉しい感想をいただきました。

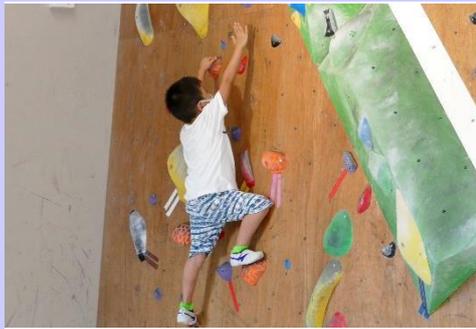
練習をしていると、ここにいる人全てが野球を通して1つになっているのを感じます。

練習を見守っているお母さん、練習の補助をしているお父さん、監督には社会人になったOB、卒部した現役高校生と好循環が生まれています。

このクラブから、未来のプロ野球選手が生まれることを期待しています。

連絡先  
あいだクラブ事務局  
山崎 邦久  
TEL:080-5881-4856  
E-mail:kunkun\_babel@yahoo.co.jp

# NPO法人かほくスポーツクラブ\*親子スポーツクライミング体験



あともう少して手が届くだけだな～



身のこなしがまるでスパイダーマン



ハーネスを装着



目の前には振り返った壁が～!!



もうソロソロ限界かも 

令和2年8月30日(日)、倉吉スポーツクライミングセンターで「親子スポーツクライミング体験」(県委託事業:県民まるごとスポーツ推進事業)を開催しました。(密を避けるため2部制で実施)

【参加者】13家族(大人14人、子ども20人)

※「県民まるごとスポーツ推進事業」とは

子育て世代の県民が、身近な地域において子どもと一緒に運動・スポーツに親しむ事業、並びに年齢・性別・障害の有無にかかわらず気軽にスポーツを楽しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進することを目的とする。

新型コロナ感染対策として、受付時に検温と消毒を行い、屋内のボルダリングでは冷房をかけドアを開けて換気をしてマスク着用、屋外のリードでは TENT を張り大型扇風機を使用、待機する人はマスクを着用して実施しました。

指導には鳥取県山岳・スポーツクライミング協会の福田宗次郎さん、サポートにTSCC(鳥取スポーツクライミングクラブ)保護者の高見周作さん・麻美さんご夫妻、山脇昭彦さん・彩さんご夫妻に指導していただきました。

ボルダリングでは、着地の際はしっかりと両足で着地すること、競技者以外はマットに上がらないこと、リードでは、ハーネスがしっかり装着されているか確認して、競技している人の近くにいないことに注意しました。

ボルダリングでは、初心者向けのオレンジ色のホールドはゴールできる人は多かったのですが、緑色のホールドになると丸みを帯びたホールドで持ちにくかったり、小さくて足を置いても滑ったりと苦戦しました。

リードでは、高さの恐怖心と途中で壁が前傾していることから早々にリタイアする人が多かったです。

全身の筋肉と、いつもは使わない筋肉を使い、翌日は筋肉痛間違いなし。

1部・2部終了後にデモンストレーションとして、トップアスリートによる、リードとスピードを披露していただきました。(すごかった!!)

【デモンストレーター】

リード: 秦野由羽さん(鳥取中央育英高校)

奥谷陵矩さん(倉吉北高校)

スピード: 福本凌大さん(倉吉河北中学校)

多月萌々菜さん(南部町立法勝寺中学校)

【参加者の声】

- ・子ども中心の生活をしているので、体を動かす機会が全くないので、子どもと参加できるのは嬉しいです。継続して実施されるといいです。
- ・なかなか体験できる種目ではないので、良い機会だと思い参加しました。初めて体験しましたが楽しかったです。
- ・最初は少し怖かったけど、とっても楽しかった。

連絡先

NPO法人かほくスポーツクラブ事務局

徳丸 宏則

TEL:0858-24-6465 FAX:0858-24-6466

E-mail:kssougou@ncn-k.net

## 一般社団法人山陰リンクの会＊ピザ窯搬入しました



正面はカラフルです



左側面はパープルとグリーンです



右側面はピンクとイエローです

令和2年8月1日(土)、「東出雲おちらと村」(松江市東出雲町)に、軽トラックにピザ窯の材料を積み込み、おちらと村まで搬入しました。

その日施設にいられた一家族に屋根(ドーム)の装飾をお願いし、可愛い屋根(ドーム)が完成しました。

その後、レンガと耐火レンガを積み上げて土台を作り、屋根を被せて煙突をつけて完成させました。

完成したピザ窯は、雨除けに竹で作ったスペースに設置されました。

ピザ窯を搬入することになったきっかけは、おちらと村の地域づくりスタッフの方が、6月4日(木)に放送された「テレポート山陰」を見られ、ピザ窯を使って地域活性化につなげたいと、倉吉まで視察に来られ実際に見て、説明を聞き、ピザを試食してみて納得されて、その日に購入することを決め帰られました。

6月18日に注文を受けてから、さっそく製作に取り掛かり、注文通りの大きさのピザ窯が完成しました。(今まで製作した中で一番大きい。)

ピザを焼くだけでなく、パンも焼き芋も焼けるし、屋根を下ろせばバーベキューもできます。

また、市販のピザ窯にはない手作りの温かみと、可愛い見た目は最高です。

この施設も、地域の人々の憩いの場となるよう、様々な取り組みをされており、このピザ窯も地域の活性化に大いに役立つのではと思います。

コロナ禍ではありますが、たくさんの人にこのピザ窯で焼いたピザを食べて笑顔になっていただけたらと思います。

※令和2年10月25日(日)に、株式会社松尾建材にてピザ窯の展示会を開催する予定です。

気軽にお越しください。

連絡先  
一般社団法人山陰リンクの会事務局  
杉谷 哲治  
TEL:090-6436-9196  
E-mail:sanrink\_sugi@yahoo.co.jp